

一般財団法人 草の根サイバーセキュリティ運動全国連絡会 (Grass Roots Activity For cyber SECURITY – JAPAN)



草の根サイバーセキュリティ運動全国連絡会 (Grafsec) の活動

2014年7月に内閣サイバーセキュリティセンターから発表された「新・情報セキュリティ普及啓発プログラム」において、「地域における普及啓発活動の活性化」が大きな課題とされ、また、総務省の「青少年インターネットセッション 議長レポート」においても、「地域における自主的・持続可能な取組のための枠組みの必要性」が掲げられています。情報化社会において、地方創生の取り組みを支える地域の啓発力が大いに期待されている今、Grafsecは、地域に最適で安心・安全なネット利用の啓発に従事する団体の相互交流を促進し、支援することでその草の根的活動を効率的なものにし、その種を全国に広げるべく、2014年12月に設立されました。

【代表理事】

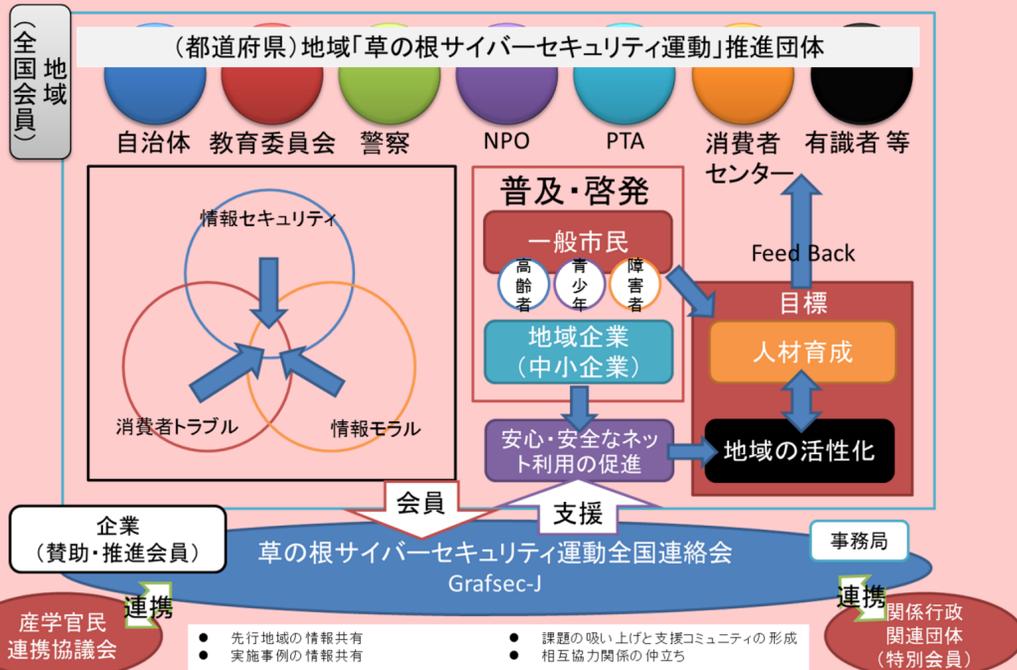
安田 浩 (東京電機大学 学長)

【主な活動】

- 全国大会の開催
- 助成金交付
- 全国会員少額支援金の交付
- 会員連絡会の開催
- 高校生ICT Conferenceの共催

【全国会員】

21都道府県32団体 (2月8日現在)



① 全国大会の開催

会員をはじめ、地域団体・行政・関係機関の相互交流を促進するためにサイバーセキュリティ月間中(2月1日～3月18日)に開催するイベント。サイバーセキュリティ・情報モラル等のネット問題に精通した有識者による講演等により問題意識を深め、新たな草の根活動のきっかけとする。

② 助成事業

公益を目的とし、「サイバーセキュリティ基本法」、「青少年が安全に安心してインターネットを利用できる環境の整備等に関する法律」及び関係法令に則して、地域に密着して活動する非営利型の法人、相当の団体又は個人に対して審査の上、助成する。

③ 少額支援制度

全国会員が地域啓発活動を行う上で、講師への謝金や交通費など、危急に必要な資金について年間で約3～5万円程度を補助し、地域への啓発活動を支援する。

④ 地域支援活動

会議、シンポジウム・研修会等への講師派遣や後援等で人材、情報を提供し、サイバーセキュリティや情報モラルへの意識、情報リテラシー向上を助ける。地域における啓発活動の促進を目指す。

⑤ 高校生ICT Conference 共催

次世代の社会を支える高校生が、自ら考え、他者の意見を聴き、議論し、意見をまとめ発表することで、将来のインターネット社会に臨む環境整備の一助になることを目指し、2011年より開催。都道府県開催、代表者によるサミットを経て、代表者2～3名が関係省庁に提言を発表します。

※安心ネットづくり促進協議会、大阪私学教育情報化研究会との共催事業